

繁殖和牛の改良促進と子牛飼育の技術向上支援

八頭農業改良普及所

1. 取組の背景

かつて、鳥取県東部の智頭町は全国に和子牛を供給する有名な産地であった。しかし、近年は農家の高齢化に加えて、繁殖牛の改良の遅れや和子牛の育成技術の低さによる子牛価格の低迷により廃業する農家も多く、衰退が顕著であった。

そこで、繁殖牛改良の推進と子牛育成技術の改善支援を行い、産地として復興することを目指し、普及活動を展開した。

2. 活動内容

(1) 育種価情報、せり成績表の提供

平成 22 年度から生産者に飼養されている繁殖牛の血統調査を開始し、毎年算出される繁殖牛の産肉能力を示す「育種価」に関する情報（図 1）を生産者に提供し、改良が遅れている生産者に対しては順位の低い牛から淘汰するように助言した。平成 23 年度からは、せり時の体測を開始して体測値（体高、胸囲、腹囲）、価格指数（せり価格/せり平均価格）および日齢体重（体重/日齢）を表（図 2）にして生産者に提供し、必要に応じて交配する精液および子牛の飼養管理について指導した。

育種価(平成24年2月算出)

NO	生年月日	名号	父	母の父	母の祖父	枝重 順位	ロース 順位	バラ 順位	皮下厚 順位	歩留 順位	脂肪交 雑順位	経済効 果順位	総合 順位
						1,001	48	1,408	570	144	818	760	158
						1,795	7	1,725	160	6	101	545	16
						1,357	2,373	1,766	26	1,614	2,127	1,924	2,326
						1,776	2,028	2,102	82	1,188	1,910	2,003	2,070
						1,639	1,955	1,608	1,549	1,892	967	1,365	1,616
						79	1,999	160	2,366	2,338	1,553	422	1,710
						709	233	595	1,555	514	527	426	274

図 1 育種価情報

平成24年度せり成績(4~12月)

年	月	入場 番号	性別	名号	生年月日	父	母	母の父	祖父	日齢	産次	価格				体重														
												去勢	指数	雌	指数	去勢	日齢体重	雌	日齢体重											
24	4		去勢							233	11	407,400	1.01		261	1.12														
24	6		去勢							267	2	381,150	0.96		243	0.91														
24	6		雌							270	1			446,250	1.21		271	1.00												
24	6		雌							260	4			394,800	1.07		284	1.09												
24	7		去勢							277	1	387,450	0.92		286	1.03														
24	10		去勢							280	2	473,550	1.08		301	1.08														
24	10		去勢							273	5	393,750	0.90		314	1.15														
24	10		去勢							272	11	374,850	0.85		209	0.99														
頭数												6		2																
平均												403,025	0.95	420,525	1.14	279	1.05	278	1.05											
単価												1,445		1,515																
最高												473,550	1.08	446,250	1.21		1.15												1.09	
最低												374,850	0.85	394,800	1.07		0.91													
合計頭数												8																		
全平均価格												407,400																		
全平均体重												278.6																		
全平均単価												1,462																		

年	月	性別	体高	胸囲	腹囲	差	平均体高
24	4	去勢	116	145	167	22	108.5
24	6	去勢	115.1	150	176	26	112.2
24	6	雌	112.2	153	178	25	110.0
24	6	雌	118.6	149	176	27	109.2
24	7	去勢	117.1	157	187.5	30.5	113.2
24	10	去勢	117.4	158	184	26	113.5
24	10	去勢	115.0	151	181	30	112.8
24	10	去勢	112	146	170	24	112.7

図 2 せり成績表

(2) 定期的な発育確認

平成24年度には3戸の農家で定期的な発育確認として延べ14回、142頭の子牛について体測（体高、胸囲、腹囲）を行い、結果を表（図3）とグラフ（図4）で示し、そのつど飼養管理について指導した。

乳牛	牛舎番号	発育確認日	性別	父	母	母の父	胎月	胎日	体高	胸囲	腹囲	差	平均体高	備考
1			雌				2012	03	107.4	8.44	14.0	2.3	111.3	普通牛
2			雌				2012	05	111.4	9.45	17.0	3.6	109.0	
3			高乳				2012	04	112.4	10.00	17.0	2.9	110.9	
4			雌				1991	03	105.0	7.30	15.0	2.5	103.1	
5			雌				1991	03	104.2	7.41	16.3	2.2	102.2	
6			雌				1884	03	103.0	7.37	16.0	2.6	101.5	
7			雌				1800	03	98.0	7.33	15.0	3.6	98.2	
8			雌				1941	11	99.0				79.9	

図3 体測結果表

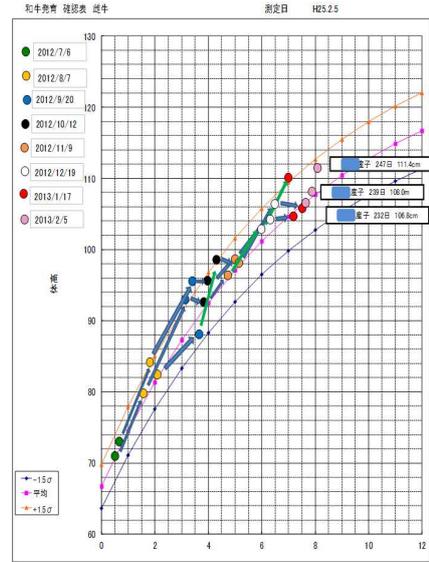


図4 体測結果グラフ

(3) 和牛通信の発行

平成20年度からJAと協力して、せり情報やJA鳥取いなば管内のトピックス等を掲載した「和牛通信」(図5)を発行しており、平成24年度は2回発行し、和牛飼養農家、市町村、関係機関へ送付した。



H24年度 第2回 鳥取いなば肉牛枝肉共励会
第10回全国和牛能力共進会
和子牛せり情報 「平成24年9月・10月・12月期の和子牛せり成績」

農協名	性別	頭数	平均価格	最高価格	最低価格	平均日齢	平均体重	DG	kg単価
いなば	雌	14	449,071	709,800	350,700	282	271.1	0.97	1,656
	雄	19	418,286	552,300	316,050	277	282.3	1.02	1,481
中央	雌	37	399,517	561,750	271,950	270	271.4	1.01	1,468
	去勢	32	456,272	663,600	296,100	266	298	1.12	1,531
西部	雌	66	401,115	552,300	279,300	284	263.1	0.93	1,524
	去勢	70	440,110	645,750	291,900	275	289.3	1.05	1,520
県全体	雌	117	406,708	709,800	271,950	280	266.7	0.95	1,524
	去勢	121	441,067	663,600	291,900	273	290.6	1.06	1,517
計		238	424,169	709,800	271,950	276	278.8	1.01	1,520

入場頭数 238頭 (雌117頭、去勢121頭)
平均価格 雌: 406千円 (前回比+17千円)、去勢: 441千円 (+1千円)
合計: 424千円 (前回比+9千円)

④種雄牛別子牛価格 (上場5頭以上)

種雄牛	9月		10月		12月	
	頭数	価格	頭数	価格	頭数	価格
金照	6	452千円	9	470千円	7	482千円
安福久	16	452千円	23	463千円	21	478千円
百合茂	23	439千円	29	462千円	46	464千円
隆之國	11	437千円	10	432千円	24	436千円
勝忠平	9	434千円	9	425千円	9	427千円

図5 「和牛通信」(抜粋)

3. 具体的な成果

(1) 育種価の低い繁殖牛が淘汰され育種価順位下位1/3の割合が平成21年度の47%から平成24年度には24%と減少し、繁殖牛の改良が進んだ(図6、7)。

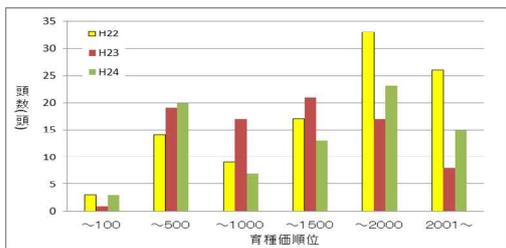


図6 智頭町における育種価順位の推移

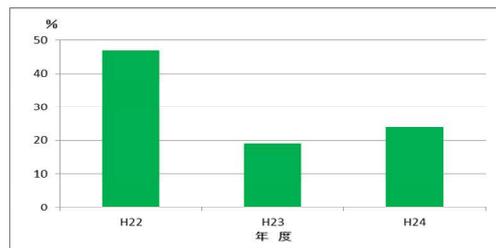


図7 育種価順位下位1/3の割合の推移

(2)平成21年度に去勢0.95、雌0.85であった価格指数が平成24年度には去勢0.99、雌1.00と上昇した(図8)。

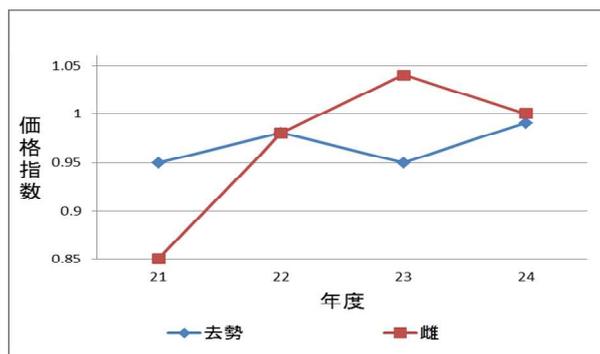


図8 価格指数の推移

4. 農家からの評価・コメント (智頭町A氏)

せり成績表は自分のせり成績が一目でわかる「牛の通信簿」として、繁殖牛の交配、子牛の育成技術の参考とさせてもらっている。育種価情報も繁殖牛の更新の際に参考にさせてもらっており、改良も進んだ。

5. 現状・今後の展開等

(1) 繁殖牛改良のさらなる推進

育種価順位下位1/3の割合が平成21年度の47%から平成24年度には24%と減少し、繁殖牛の改良が進んだ。しかし、農家によっては繁殖牛の更新が進まず、育種価順位の低い繁殖牛が飼養されている。最新の育種価情報、せり成績情報を提供しながら、個別対応により農家個々の事情に対応した更新を勧め、繁殖牛の改良をさらに促進していく必要がある。

(2) 子牛育成技術の改善支援

せり時の日齢体重は年々増加しているが、去勢1.06、雌0.98と鳥取和牛育成技術マニュアルで推奨されている去勢1.10、雌1.00に達していない。また、せり時の体高が公益社団法人全国和牛登録協会の発行している「黒毛和種標準発育曲線」の標準値以下の子牛が30%となっている。せり時の体測を継続するとともに育成段階における定期的な発育確認(体測)による原因究明などを行い、育成技術の向上を図る必要がある。

(3) JA鳥取いなば全体での取り組みへ

平成22年度から24年度まで智頭町で繁殖牛の改良推進と子牛育成技術の向上について支援して一定の効果が見られたので、平成25年度からはJA鳥取いなば全体の取組として支援している。

(執筆者：山根 法明)